

HARIO

〔家庭用〕

V60 ELECTRIC COFFEE GRINDER COMPACT N

V60 電動コーヒーグラインダーコンパクト N

取扱説明書

保証書付

お買いあげ誠にありがとうございます。正しくご使用していただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。また、本書には保証書が付属しておりますのでお読みになりましたら、大切に保管してください。



HOW TO USE

EVCN-8
説明書2312

日本国内専用

安全上のご注意

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しています。このマークは、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示してある事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
例  = 感電注意	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。
例  = 分解禁止	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容（左図の例では分解禁止）が描かれています。
例  = 電源プラグをコンセントから抜いてください  = 指示を守ってください	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください/指示を守ってください）が描かれています。

電源プラグ・電源コンセントについて

⚠ 警告

交流100V以外では使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因となります。傷んだプラグや緩んだコンセントは使わないでください。



電源コードや電源プラグが痛んでいるいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。修理は販売店または弊社ご相談窓口までお問い合わせください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電・ショート・発火の原因となります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因となります。



電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除いてください。プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。



ご使用について

⚠ 警告

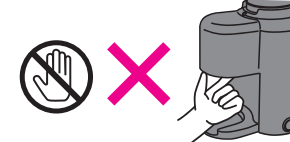
グラインダー本体を丸洗いしたり、水をかけたり浸けたりしないでください。故障の原因になり、また感電する恐れがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。感電や手指に怪我をする恐れがあります。



コーヒー粉ノズルの中に直接手指をいれないでください。大怪我をする恐れがあります。



⚠ 注意

粉受けの容量を超えて豆を挽き続けた場合、豆が詰まりモーターに負荷がかかることがあります。一度に挽く豆の量はホッパーに記載のMAX目盛り（p.6）参照を超えない量にしてください。



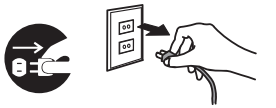

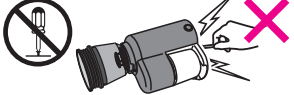
コーヒー豆以外でのご使用はお控えください。故障や詰まりの原因となります。



設置場所について

⚠ 警告	⚠ 注意
<p>不安定な場所では使用しないでください。けが・故障の原因となります。</p> 	<p>電源コードは足やものに引っかけると、本体の落下や転倒によりけがの原因となります。十分注意して配置してください。</p> 
	<p>長時間直射日光が当たる場所、ペットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しないでください。本体の変形、故障、事故、火災の原因となります。</p> 


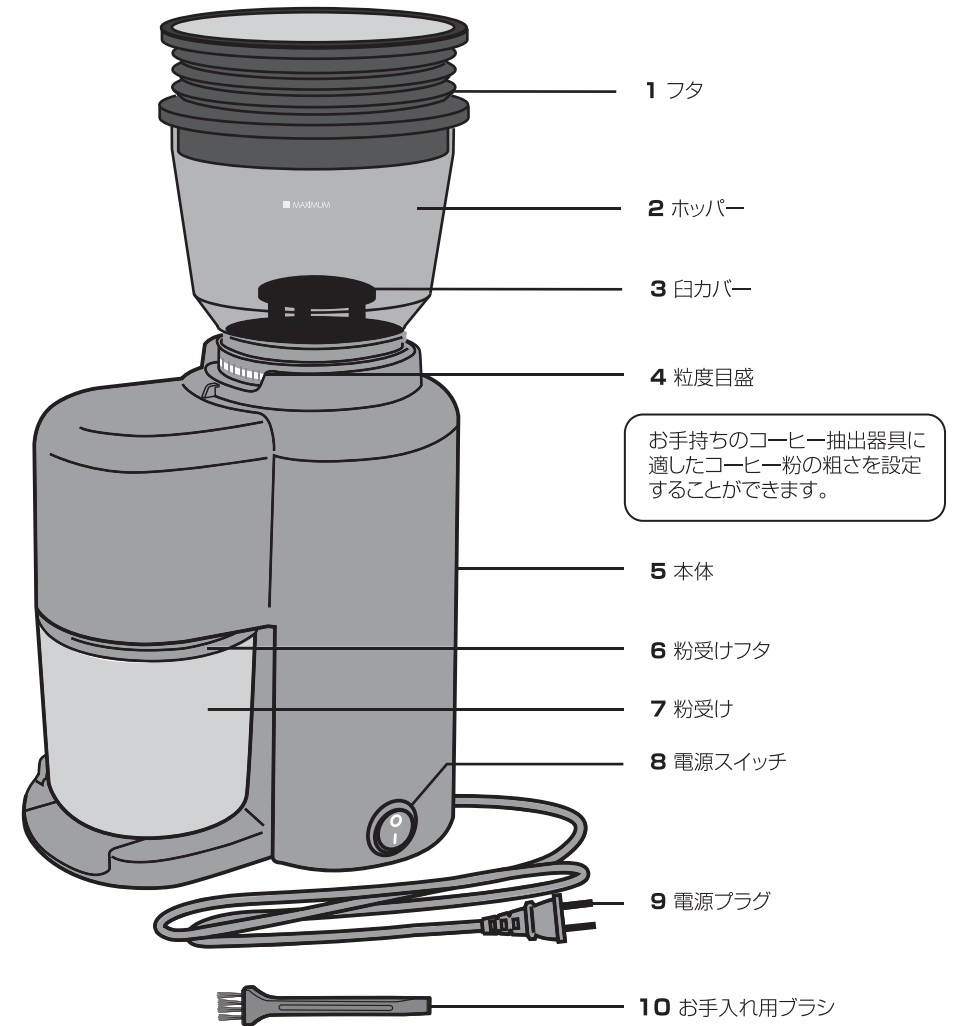
お手入れについて

⚠ 警告	⚠ 警告
<p>お手入れするときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。</p> 	<p>臼のクリーニングの際は臼本体に直接手で触れるとケガする可能性があります。必ず備え付けのブラシでお手入れしてください。</p> 
	<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動して怪我をすることがあります。</p> 

廃棄について

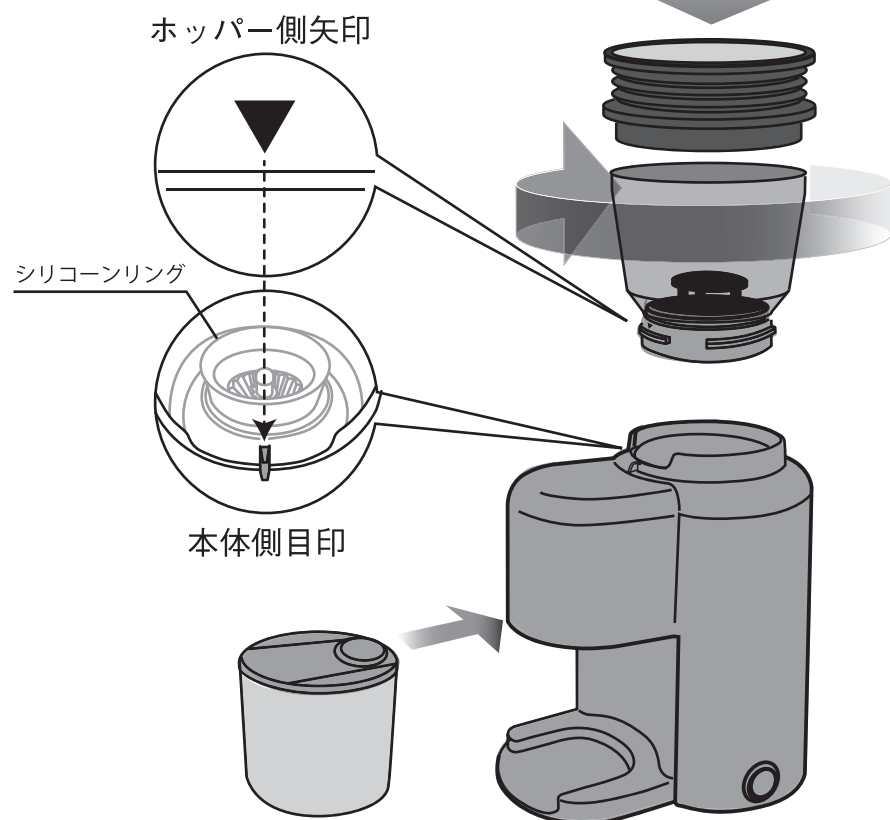
⚠ 注意

廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。

ご使用方法

STEP1



- ①ホッパー側矢印が本体正面の目印の位置に来るように、本体の上面にホッパーを置き、押し込みながら時計回りに回し、ホッパーを取り付けます。
- ②粉受けがきちんとセットされていることを確認します。
※初めて使用する際は、ホッパーフタ・粉受け・粉受け・フタシリコンリングを洗浄してください。
※生産工場にて実際にコーヒー豆を入れ、稼働のチェックを行っております。その為、稀にコーヒー粉の除去をしきれず本体に残っている場合があります。

STEP2



- ①コーヒー豆をホッパーに入れます。
- ②ホッパーにフタを取り付けます。フタをしないうで稼働させた場合、コーヒー豆が飛び散ることがあります。

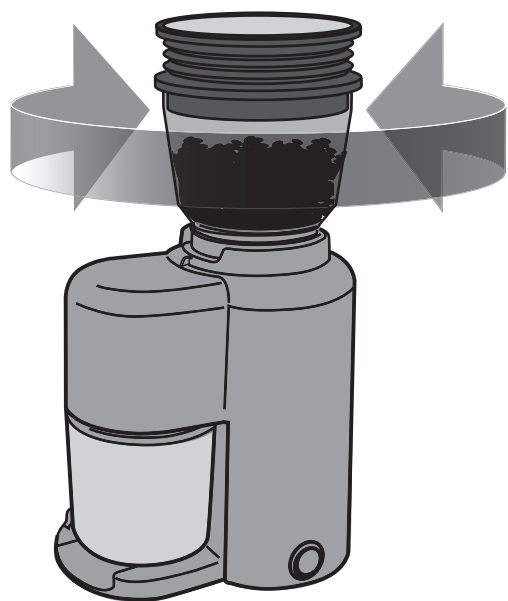
<容量について>

ホッパーの容量は実使用可能量よりも大きく設計されております。粉受けの容量はコーヒー豆約100gと小さいため、ホッパーのMAXの目盛を超えてコーヒー豆を入れないでください。コーヒー粉が詰まった場合、故障の原因となりますのでご注意ください。必ず粉受けの容量規定を守り、数回に分けてご利用ください。

STEP3

細挽き

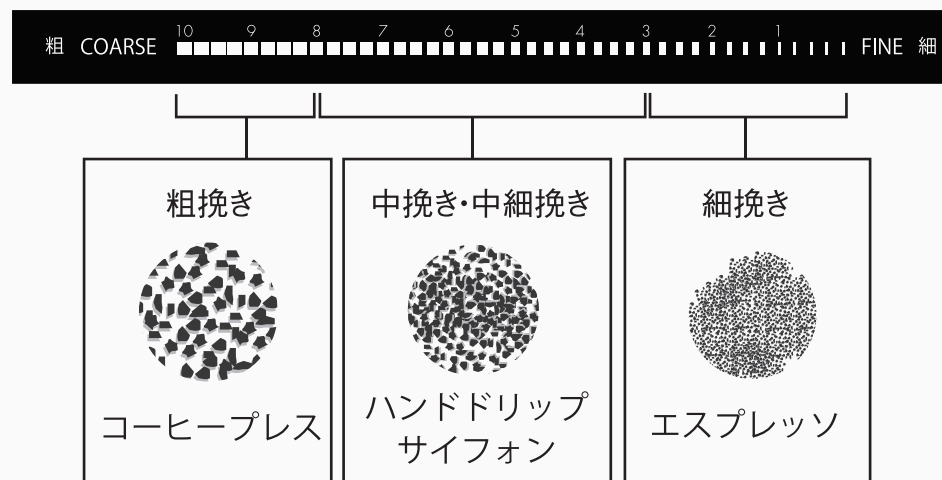
粗挽き



本体をしっかり押さえてホッパーを回し、お好みの粒度に設定します。

<粒度設定について>

粒度目盛でお手持ちのコーヒー抽出器具に適したコーヒー粉の粒度を設定することができます。細かく粒度調整できるため、ハンドドリップ以外にもコーヒーサイフォン、コーヒープレス、家庭用エスプレッソなどに適した設定ができます。

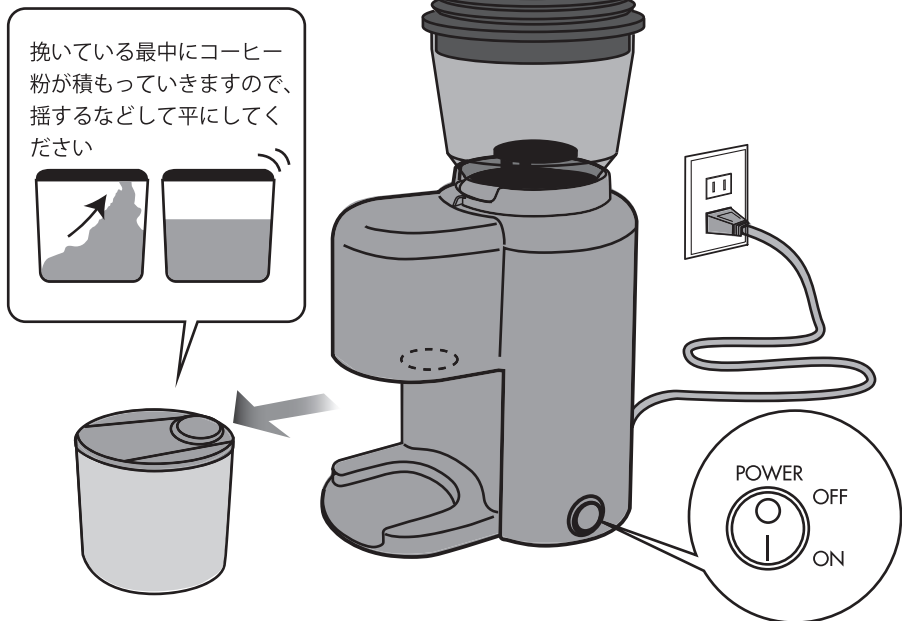


<ご使用時の注意>

- 粒度設定が細かいほど挽き終わりまでの時間がかかります。
- 細挽き設定でご使用の場合、コーヒー粉が詰まることがあります。その場合は、ホッパー・本体を軽く揺するか、付属のブラシで付着したコーヒー粉を落としてください。
- 挽いている最中に臼が空回りする場合があります。その際は、ホッパー・本体を軽く揺すり、豆を落としてください。
- 1以下のメモリはコーヒー豆の種類・焙煎度合いにより挽けない場合がございます。
- 粉受け容量以上のコーヒー豆を一度に挽かないでください。コーヒー粉が詰まる原因となります。

STEP4

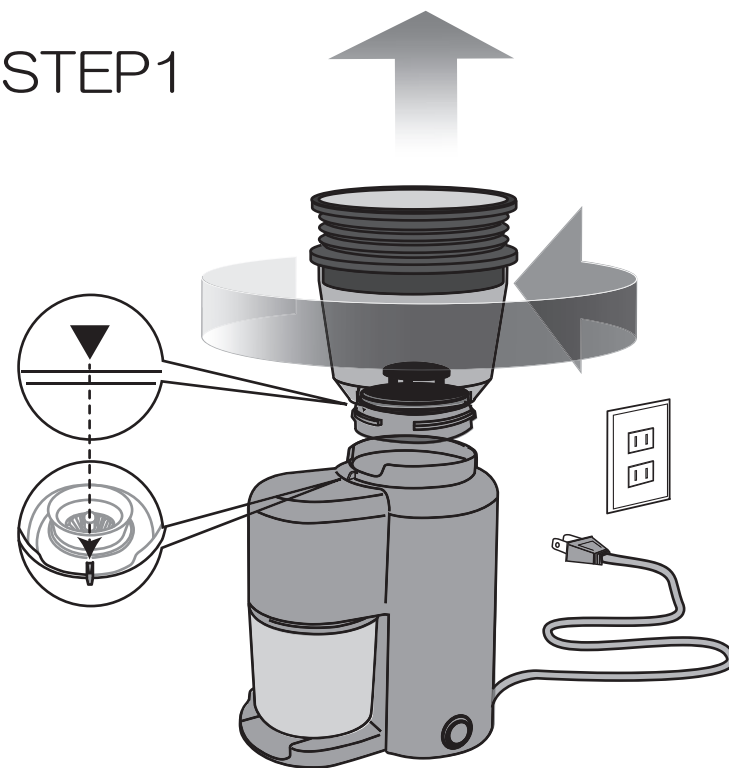
本製品は、静電気除去機能を搭載しており、コーヒー粉の飛び散りを抑えます。



- ①電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ②粉受けがセットされていることを確認し、電源スイッチを ON にしてコーヒー豆を粉砕します。
- ③粉砕終了後電源ボタンを OFF にし、粉受けを取り出します。

※ 粉砕中、モーターの回転が遅いと感じたり、異音等が発生した場合は電源ボタンを OFF にし、状態を確認してください。また、ご使用時は粉受けの状態を確認し、コーヒー粉が粉受けフタの入口に到達する前に電源ボタンを OFF にしてください。OFF にせず挽き続けると本体内に粉が詰まり、故障の原因となります。

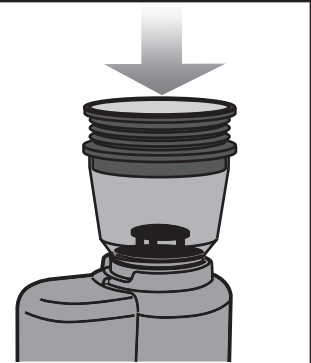
STEP1



- ①お手入れの際には電源スイッチを「OFF」の位置にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ホッパー側矢印と本体側目印が合うところまでホッパーを反時計方向に回し、上に引き上げて外します。

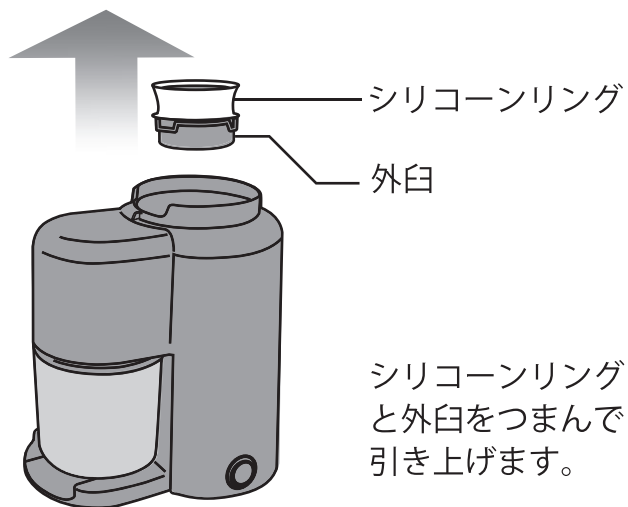
クリーナー機能付きのフタなので日常のお手入れが簡単です。

フタの天面を手で押すことで蛇腹式のフタが内部へ空気を送り込み微粉などを粉受けに押し出します。
※力強く叩いたりしないでください。
破損の原因となります。

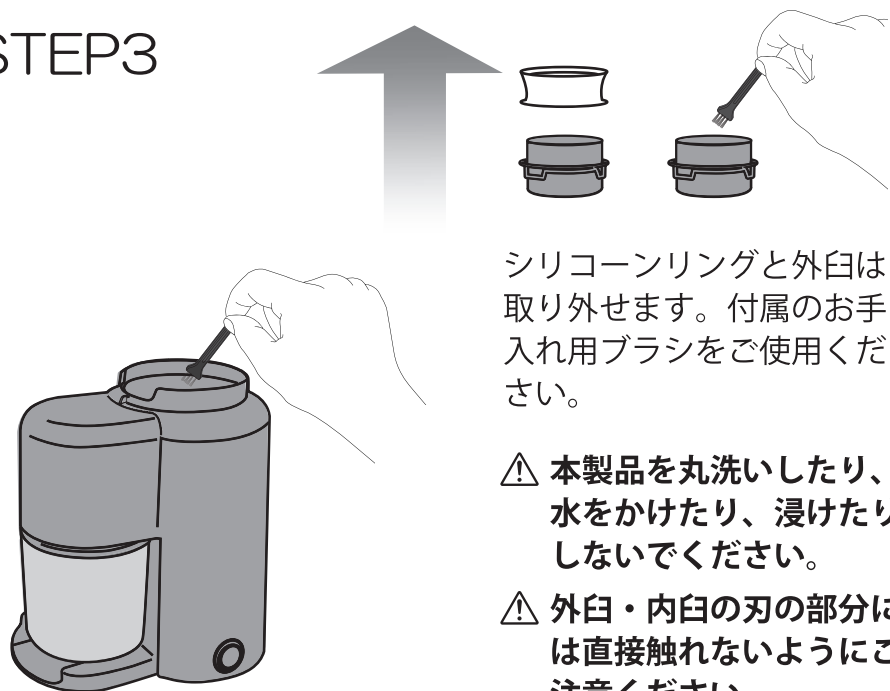


お手入れの方法

STEP2



STEP3

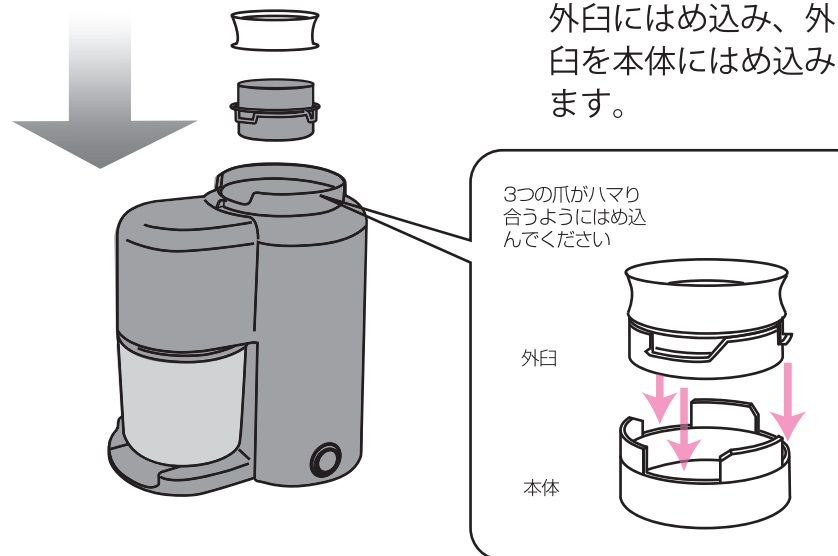


シリコーンリングと外臼は取り外せます。付属のお手入れ用ブラシをご使用ください。

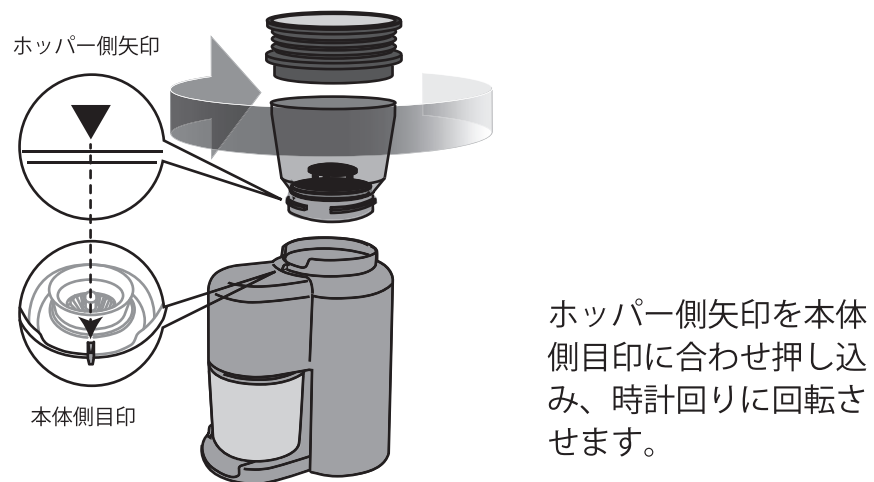
- ⚠ 本製品を丸洗いしたり、水をかけたり、浸けたりしないでください。
- ⚠ 外臼・内臼の刃の部分には直接触れないようにご注意ください。

お手入れ後の組立方法

STEP1



STEP2



ホッパー側矢印を本体側目印に合わせ押し込み、時計回りに回転させます。

故障かな?と思ったら

ご使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、ご使用を中止してください。その後、下記の内容をチェックしたうえで、症状が改善しない場合は弊社「ご相談窓口」にお問い合わせください。

状態	予想される原因	対処のしかた
電源スイッチをONにしても白が回らない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ホッパーがきちんとセットされていない。	ホッパーを正しくセットしてください。
白は回っているが、コーヒー豆が挽けない。	本体内にコーヒー粉が詰まっている。	付属のお手入れ用ブラシを使用し清掃を行ってください。
	粒度とコーヒー豆の相性が悪く、白がコーヒー豆を弾いてしまっている。	粒度の調整を粗くしてください。
粒度調整ダイヤルを回しても粒度が変わらず、粗くしか挽けない。	外白が正しくセットされていない。	取扱説明書 12 ページ「お手入れ後の組立方法」をご覧ください。

電源	AC100V 50 / 60Hz
定格消費電力	150W
ホッパー容量	MAX目盛：約100g (コーヒー豆)
粉受け容量	約100g (コーヒー豆)
サイズ	幅130×奥行185×高さ312(mm)
コード長	0.8m
重量	1.5kg
材質	本体：ポリプロピレン、ポリアセタール、ステンレス、ポリアミド ホッパー・粉受け：AS樹脂 ホッパーフタ：シリコーンゴム、ステンレス

●中国製

1. 保証書について

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

必ずご相談窓口までご連絡ください。保証書の記載内容に基づき当社で無償修理致します。保証期間を過ぎている場合は、有償修理となる場合があります。

■ご相談窓口

HARIO 株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-3
フリーダイヤル:0120-39-8208
<https://www.hario.com>

HARIO CO., LTD.

9-3 Nihonbashi Tomizawa-Cho,
Chuo-ku, Tokyo 103-0006 Japan
<https://global.hario.com>